

2025年11月22日

第9回公開講座

アンケートまとめ

所属機関の機能について

7件の回答



● 在宅療養支援診療所

● 在宅療養支援診療所以外の診療所

● 在宅療養支援病院

● 在宅医療・介護連携支援センター関連

● 上記以外の医療機関

● 医師会

● 日本福祉大学。非常勤で在宅療養支援病院で勤務

現在の職種

7件の回答



● MSW

● PSW

● 医師・歯科医師

● 看護師

● 薬剤師

● 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

● 介護支援専門員

● 介護福祉士

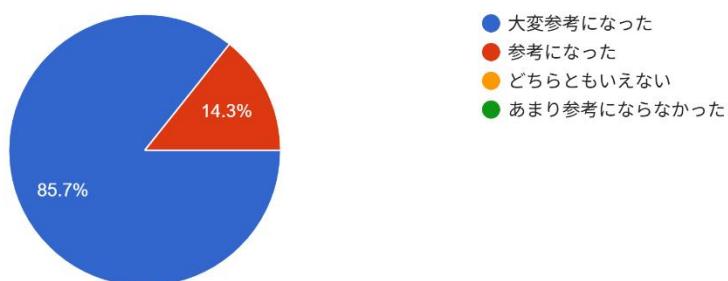
講演

『在宅介護における訪問歯科のポジショニング』

講師：堀 道人先生（本山歯科医院 デンタル相談員）

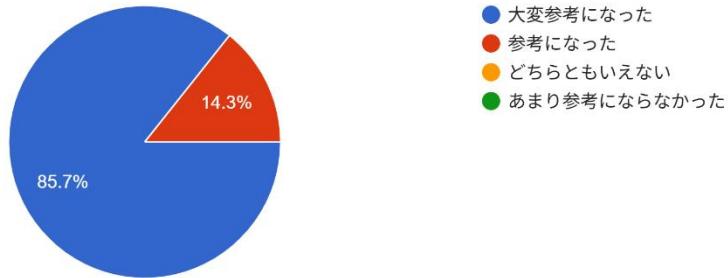
今回の講演について

7件の回答



質疑応答・意見交換について

7件の回答



コメント:

- 機能文化による問題がおきている中で歯科診療の介入の方向性はまだまだあるとおもいました。
- 他の歯科医院さんも本山歯科医院さんのように、相談員の方が常駐してくださると、依頼をしやすくなりますし、患者さんに適切な医療を届けられると考えております。
- 在宅歯科診療の重要性がよくわかりました。長期の療養者や重度要介護の患者さんの口腔ケアへ飲み込む機能の維持について、食べられなくなってきた時に歯科の相談員がどのように患者さんと関わりをもち、他の職種と連携されるかという辺りの話も、またぜひ機会があればお伺いしたいと思いました。
- 急性期の医療機関ですと、入院前にどこの歯科医院がかかりつけであったのかという情報は、なかなか入ってこない現状があります。（在宅医療・サービスが導入されていても、サマリーに歯科医院の情報までは記載がされていません）本人やご家族からの訴えで、入れ歯を作成中だったなどの情報をいただくことがあります。一方で、退院時に歯科医院へ情報提供することもほとんどありません（ビスホスホネートを服用している場合でも情報提供しないこともあります）。今回、あらためて口腔内ケアや食事、連携の大切さを学び、連携の方法、ツールについて自院や地域の中でどのようにおこなっていくのか、統一化がこれから2040年に向けて課題であると感じました。ICTは便利な反面、不要な情報も反乱する可能性もあり、スタッフの疲弊にもつながると思います。患者にとって必要な情報を的確に地域や病院で共有するツールが必要と感じました。